

平成28年度 第1回若桜町総合教育会議 議事録

1 日 時 平成28年8月24日(水) 午前9時55分から11時30分

2 場 所 若桜町役場2階 第1会議室

3 出席者 町長 小林 昌司
教育委員会 教育長 高木 政寛
委員長 上原 康嗣
委員 竹本 光子
委員 福田 浩子
委員 武田 恭二
事務局関係 総務課課長 新川 哲也
教育委員会事務局次長 前田 弥生
教育委員会事務局参事 岡崎 浩一
総務課課長補佐 暇 友美

4 議事録署名人 委員 福田 浩子
委員 武田 恭二

5 協議事項

- (1) 幼児教育について
- (2) 男女共同参画(女性の活躍推進)について
- (3) 生涯学習情報館について
- (4) 文化財(伝統的建造物群)を活用したまちづくりについて
- (5) その他

会議の経過概要

1 開会(総務課長)

2 あいさつ(町長)

昨年度は、この会議で若桜町教育大綱を策定した。これからの若桜町の教育をどうするか、一緒に考えたい。

3 協議事項

(1) 幼児教育について

町長 こども園の園児数、去年は47名だったが今は65名に増加した。移住者があり、少しずつ賑やかになってきた。それに伴い保育士が不足しており、来年度採用予定。高齢者が頑張る町になれば、若い人も喜んで住める。こども園のあり方は、住民も期待している。子育て支援センターも整備したが、職員が変わっていけず、保育所の延長となっている。

次長 (資料に基づき説明) 地教委連絡会を月1回開催し、教育委員会、若桜学園、こども園が協議・情報共有を行っている。

参事 学園、こども園の教員と教育委員会で小中一貫教育協議会連携推進部会を開き、こどもの教育をどう進めるか等の協議や問題点の共有・連携を行い、目指すこども像が食い違わないようにしている。公開保育・研究会には、参観するようにしている。幼児教育の専門性が弱く、十分な意見交換にならないが、県等から指導に来てもらう等して、幼児教育の充実を図っている。

町長 こども園の家庭教育の状況は？

参事 講演会等。保護者の考え方が以前とは変わっており、対応が難しい。

委員長 こども園が幼・保を融合したものになりつつあるし、ならないといけない。どうすれば幼・保が融合できるか？ 若桜は個になる傾向があるが、協力して、子供の教育・未来のために輝く若桜を取り戻さないといけない。

町長 男女共同参画は、老人会でもやっていかないとけない。智頭町的那岐、五月田は13戸だが、祭りには千人が訪れる。高齢者が元気だと若い人も元気になる。若桜町の行政は、何でも町がやってきた。町民に考えてもらうことをしなかったため、集落の温度差がある。寺前集落では、子供がいる夫婦が移住者することになり、薬師の祭りをすることになる等、少しずつ動きが出てきた。地域が頑張れば、地域の教育につながる。若い人がいないから駄目、というのでは駄目だ。

委員長 老人の中に変化が出てきた。町内の花植えをやめてしまったが、復活させた。グラウンドゴルフも熱心にやっており、女性が引っ張っている。公民館活動も女性が熱心。期待できる。

町長 こども園の環境をよくしないとけない。トイレの改修、0歳児の部屋の改修等。裏山の治山工事が来年からあるため、山とこども園の間に滑り台の設置等を検討している。給食施設も直したい。人的対応も考えている。

委員長 建物は立派でなくともよい。

福田委員 改修工事、保健室を検討してほしい。子供の数が増え、病児が出た時に先生が保育と病児の両方に気を配るのは大変。今は健診を職員室でやっている状況。

町長 病児保育は難しいが、病後児保育を検討している。県下で対応していないのは若桜だけ。支援センター入り口近くの部屋を利用したらと思うが、補助金を使って整備しており、目的外使用になるためできないという話もあるが、弾力的に使いたいと思っている。1年未満児の家庭内保育に月3万円の現金給付を検討している。県も検討中。1歳以上は保育料無料にしている。

(2) 男女共同参画（女性の活躍推進）について

次長 （資料に基づき説明）今年、男女共同参画プランを見直す。わかりやすくシンプルにまとめたい。

町長 骨格だけのシンプルなプランで良い。

委員長 クォータ制を取り入れなければならないのではないか。公民館長や自治会長、実態は女性がやっていることも多い。変えていったらどうか。

町長 子育て支援と男女共同参画を所掌する室をつくることも考えている。

委員長 副町長を女性にしたらどうか。

竹本委員 女性の意識改革も必要。

町長 若い人は、家庭も仕事も一緒にやっている。中高年が変わらないといけない。

竹本委員 追い込まれないと変わらない。

町長 行政の位置づけを変えないといけないと思っている。検討を進める。仕事では、男女差をつけていない。人材を育成しないと進まない。

竹本委員 女性の入っていない審議会は？

次長 文化財保護審議会。専門知識が必要なので。

町長 若桜の人でなくても、町外からでも良い。行政の位置づけ、子育て支援と男女共同参画を一緒にするよう検討する。審議会への女性参加は進んできており、今後もさらに進めたい。

(3) 生涯学習情報館について

次長 (資料に基づき説明)

町長 移住者には、町内施設がコンパクトに充実していると好評。

委員長 観光客がカリヤを観に行くのに、どこに駐車すればよいのか分からない。駅だけでなく、ピクトグラフによって示すことが必要。資料6pにある、情報館での喫茶、考えてみてはどうか。

竹本委員 そういうスペースを作ったらどうか。

次長 運営委員会で検討する。

委員長 白書の整備を積極的に行ってはどうか。

町長 統計資料、紙ベースでないものもよくある。保存を情報館でまとめてやってはどうか。資料が担当課で捨てられているおそれがある。資料保存、行政も協力したい。

町長 町の頭脳にするため、「図書館」ではなく「生涯学習情報館」にした。

(4) 文化財(伝統的建造物群)を活用したまちづくりについて

町長 大木島、財団でも作って公開できたらと考えており、所有者と話をしている。中木島は、協力すると言ってくれた。伝統的建造物群に指定されたら、補助もある。カリヤの活用・保存、町並みの保存をしていきたい。

武田委員 若桜鉄道目当ての客が、全国から来ている。食事するところがあればと思う。

町長 鯉料理、駅前の空き店舗が貸してもらえない。入ってくれる人はあるのだが。蔵通りの舗装等、町民も参画してもらったうえで決めるようにしたい。

(5) その他

教育長 教育行政の点検評価をしており、次年度に向けた取り組みを検討する中で、総合教育会議、年3回でもしてはどうかという意見がでた。予算時期前、計画作成前、10月の事業見直し前等。教育委員2名は任期が切れるため、10月後半から11月に開催してほしい。

町長 年内にもう1回開催する。

4 その他

総務課長 運営要綱の第7条第3項に議事録は、町長が指名する2人の構成員の署名をもって確定するものとあるので、署名委員は福田委員と武田委員にお願いしたい。